



令和5（2023）年4月1日から 金属アーク溶接等作業者の マスクフィットテストが義務化されます

溶接ヒューム測定で適切なマスクを選んでも、マスクが正しく使えていなければ、本来の性能が活かされません！そのため、マスクを正しく装着できているかどうかを確認するため、フィットテストを1年に1回実施することが義務となりました。環境技術研究所では、お客様からのニーズに応え、貴社に訪問してマスクのフィットテストをいたします。

・フィットテストは、どのようにするのですか？

弊社の測定員が測定器を持っておうかがいいたします。

溶接作業をされる方全員が対象です。

溶接現場ではない場所でテストを行いますので、会議室・事務所等をお借りいたします。

測定結果は、後日報告書を発行いたします。

・フィットテストに必要なものは何ですか？

溶接作業時に使用するマスクを、測定する人数分ご用意ください。

マスクは事前に「溶接ヒューム測定」で選定したグレードのものです。

弊社以外で溶接ヒューム測定した場合でも、フィットテストのご依頼をお受けいたします。

・時間はどれ位かかりますか？

測定状況によりですが、2～3名で半日を予定しております。

人数が多い場合には終日、または別日に係る可能性がある旨、ご了承ください。

・フィットテスト用のキットをすでに購入しているのですが…

定性的評価のキット（袋を被るタイプ）をお持ちの場合、貴社のキットを使って弊社の測定員が測定することが可能です。その際、使用する各部品の在庫を事前に確認させていただきます。

測定器を使った定量的評価は、弊社で持参する測定器を使用いたします。

当社では、お客様の状況に合わせてフィットテスト実施の提案をさせていただきます。
ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせくださいませ。